



総合支所庁舎の銘板を除幕し、新たな一歩を踏み出した宮守総合支所開所式

近年、市町村を取り巻く環境は、少子高齢化や人口の減少、

誠にご尽力をいたした関係各位に、心から感謝を申し上げます。この間、ご尽力をいただきましたが、合併協議会委員の皆さまのご尽力をはじめ市村の住民と議会議員の方々のご理解や市村の全職員が一丸となった努力によって、精力的に合併協議を進めることができ、今日の歴史的一天を迎えられましたことは、誠に感慨深いものがあります。

### 式 遠野市開庁式 辞



市長職務執行者 佐々木 廣

本日、十月一日、遠野市と宮守村の合併により、人口三万三千人、面積八百二十五平方キロの新しい遠野市が誕生しました。平成十六年五月に任意合併協議会を設置して以来、一年五カ月間という期間ではありましたが、合併協議会委員の皆さまのご尽力をはじめ市村の住民と議会議員の方々のご理解や市村の全職員が一丸となった努力によって、精力的に合併協議を進めることができ、今日の歴史的一天を迎えられましたことは、誠に感慨深いものがあります。

併後の新市の進むべき道筋を明確に示す羅針盤として、地方分権の進展や少子高齢化、社会経済のグローバル化といった地方行政を取り巻く諸課題に対応したものであります。新しい遠野市は、新世紀の人々の心に自然志向、ふるさと志向が静かな広がりを見せる中で「永遠の日本のふるさと」を将来像として掲げることとしました。「永遠の日本のふるさと」は、自然と共生しながら、人々が健やかに輝き、ふるさとの伝統や文化を育み、住民一人一人の誇りと熱意と活力によってみんなで築く「ふるさと」であります。これまでの市村の枠にとらわれず、お互いを尊重し理解し合い、自由な発想でまちづくりを進めることよって名実ともに「永遠の日本のふるさと」となるものと信じます。私は、新市の市長が誕生するまでの間、市長職務執行者を仰せつかったものでありますが、住民サービスが滞ることのないよう、円滑に新市長に職務を引き継ぎできるよう全力を尽くす所存ですので、市民の皆さまのご理解、ご協力をお願い申し上げます。開庁式にあたってのごあいさつにさせていただきます。

平成十七年十月一日

## — 新・遠野市誕生 —

# 2つの個性が融合し、躍動する、新しい遠野郷の創造

— 新市まちづくり計画の基本理念 —



遠野市開庁式でテープカットを行い、新「遠野市」誕生を祝う佐々木市長職務執行者(左から5人目)らと10月1日生まれの児童

遠野市と宮守村の合併により新「遠野市」が十月一日誕生。人口三万二千三百六十四人(九月末住民基本台帳)での船出となりました。遠野市開庁式は午前八時から市役所本庁舎で行われ、佐々木市長職務執行者(旧宮守村長)、本田旧遠野市長、工藤県議会議員、高橋遠野地方振興局長、市議会議員、旧合併協議会委員、市民ら約二百五十人が出席。佐々木市長職務執行者らと十月一日生まれの小学三年から六年の児童六人がテープカットし、新市誕生を祝いました。宮守総合支所の開所式は午後一時から行われ、佐々木市長職務執行者、宮守町の行政区長ら約七十人が出席。総合支所庁舎の銘板を除幕し、新たな一歩を踏み出しました。新市は「2つの個性が融合し、躍動する、新しい遠野郷の創造」を基本理念として「永遠の日本のふるさと」づくりを進めます。

**2つの個性が融合し**  
遠野市と宮守村の個性を大切に、両市村の住民が多様な面でお互いに活発に行き来しながら、協働でまちづくりを進めます。

**躍動する**  
第一次、第二次、第三次産業が融合した「第六次産業」が発展し、若者や女性、高齢者などすべての住民がはたらくと働き、躍動するまちづくりを進めます。

**新しい遠野郷の創造**  
住民一人一人がまちづくりの担い手となり、自然と共生した夢のある未来を描きながら、新しい遠野郷を創造していきます。

**永遠の日本のふるさと**  
新市の将来像を「永遠の日本のふるさと」とし、自然と共生しながら、人々が健やかに輝き、ふるさとの伝統や文化を育み、住民一人一人の誇りと熱意と活力によってみんなで築く「ふるさと」を目指します。

**婚姻届第1号**  
新市誕生の日、市役所本庁舎に届け出した二人。貴広さんは「若い人が集まる活気のあるまち、魅力のあるまちになってほしい」と新市へ期待を寄せていました。

たかひろ 菊池貴広さん  
みみ 菊池瑞恵さん